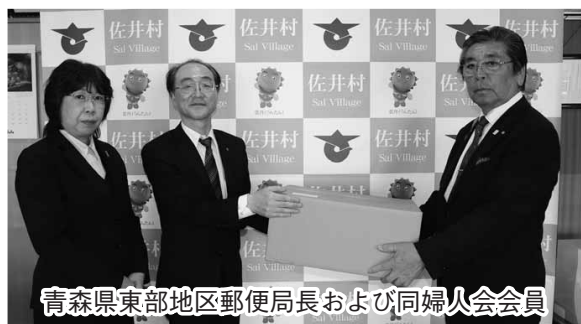


多くの方より善意の寄贈をいただきました



5月13日(水)、青森県東部地区郵便局長および同婦人会会員が役場を訪れ、不織布マスク500枚を村長に手渡しました。

新型コロナウイルスの影響から、各地域でマスクが不足している実態を受け、佐井村を含む東部地区すべての自治体にマスクが寄贈されました。

今回寄贈されたマスクは、村内に住まわれている妊婦さんに配られる形で活用されました。

5月14日(木)、大間町の漁師である藤枝亮一さんが役場を訪れ、不織布マスク9,000枚を寄贈しました。佐井村のほかにも、大間町へ28,800枚、風間浦村へ9,000枚が寄贈されました。

藤枝さんは、マスクが手に入らず困っている人のため、また地元への恩返しになればとの思いから、マスクの寄贈を考えたそうです。

今回寄贈されたマスクは、住民のみなさんへの2回目のマスク配布に活用されています。



5月18日(月)、弘前倉庫株式会社 農業事業部の高村大志さんが役場を訪れ、不織布マスク2,000枚を村長に手渡しました。

弘前倉庫(株)は、健康面での期待が高まっているカシスの栽培について、すでに県内で取り組んでおり、さらに農地を広げたい同社と、耕作放棄地解消を目指したい佐井村の思いが一致し、昨年からは佐井村(中道地区)でもカシスの栽培に取り組んでいる企業です。

今回寄贈されたマスクは、住民のみなさんへの2回目のマスク配布に活用されています。

特別定額給付金(国から一律10万円給付)の受付が始まっています

佐井村では、5月11日(月)に対象者へ申請書類を発送し、翌日12日(火)から受付を開始しています。5月18日(月)から29日(金)まで、職員が村内各地区を回り、申請の受付を行いました。

まだ申請されていない方は、役場窓口での申請、返信用封筒で郵送による申請またはオンライン申請をご利用ください。



佐井村における特別定額給付金の申請受付期限は、

7月31日(金)です。忘れずに申請しましょう!

※不明な点などがありましたらお気軽に住民生活課へご相談ください。